

# 小麦「さとのそら」、大麦「さやかぜ」が 奨励品種に採用

岐阜・西濃地域を中心に小麦が栽培されていますが、近年はコムギ縞萎縮病が発生するようになりました。特に県の主要品種である「農林61号」は抵抗性を持たないため病害が目立つようになり、収量が不安定となる一因に考えられています。

そこで、県内の小麦生産の安定化を図るためにも抵抗性を持つ「さとのそら」が奨励品種に採用されることとなりました。

また、大麦は主に麦茶用として流通する中、安定してタンパク質含量の高い品種が求められており、新たに「さやかぜ」が奨励品種に採用されることとなりました。

## 小麦「さとのそら」の特性(11月上旬播き)

品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	m <sup>2</sup> 穂数 (本)	収量 (kg/10a)	容積重 (g)	千粒重 (g)	倒伏	品質	等級	タンパク質含量 (%)
さとのそら	4.16	6.04	76	7.9	485	450	817	39.6	0.5	3.2	1.2	9.1
対照)農林61号	4.15	6.05	88	7.9	499	474	828	42.1	0.8	3.6	1.2	9.2

## 大麦「さやかぜ」の特性(11月上旬播き)

品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	m <sup>2</sup> 穂数 (本)	収量 (kg/10a)	容積重 (g)	千粒重 (g)	倒伏	品質	等級	タンパク質含量 (%)
さやかぜ	4.10	5.22	73	3.9	317	442	709	34.0	0.0	3.4	1.2	9.4
対照)ミノリムギ	4.17	5.29	94	5.2	316	408	682	35.9	1.0	4.1	2.2	9.2

### 「さとのそら」の品種特性

「農林61号」と比較して以下のような特徴があります。

- ・コムギ縞萎縮病に強い。
- ・出穂期は1日(4月16日)遅く、成熟期は1日(6月4日)早い。
- ・稈長は約12cm短く、倒伏しにくい。
- ・外観品質は同等~やや優れている。

### 「さやかぜ」の品種特性

「ミノリムギ」と比較して以下のような特徴があります。

- ・出穂期は7日(4月10日)、成熟期は7日(5月22日)早い。
- ・稈長は約21cm短く、倒伏しにくい。
- ・収量は多く、外観品質はやや優れている。
- ・タンパク質含量は同等~やや高い。